

平成 27 年度植物友の会活動記録

平井健一郎

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、企業等の賛助会員が年額 5,000 円となっている。平成 15 年度からは 10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて(賛助会員は除く)、今年度 10 月以降の入会は個人 1、家族 1 であった。

平成 28 年 1 月現在、会員数は個人会員が 113(△6) 人、家族会員が 20 組 49 人 (+1)、企業等の賛助会員が 8 団体 (△1) である。() 内は昨年度からの増減会員数、△は減。

活動 (表 1・2・3)

当年度の友の会事業執行報告を表 1 に記す。年間計画は従来、会誌『はなの輪』の 1 ページとして掲載していたが、2012 (平成 24) 年度から参加を促すことや参加希望者の失念を防ぐ対策として、掲示しやすいよう印刷機で印刷することができる最大の B4 版の一枚もの(両面印刷)として発送している。今年度も「はなの輪」の原稿として組み入れず、掲示しやすいよう B4 版クリーム色紙とした。

以前より 3 園共通年間パスポート ¥1,500 に対し、友の会会費は個人 ¥2,000、家族 ¥3,000 で、入園無料となるのは友の会行事のあるときのみである。これに対し友の会会員であるメリットの増大を図るため、2013 (平成 25) 年度は友の会行事のない偶数月のみ友の会講習会としていたが、2014 (平成 26) 年度は毎月第二火曜日・第四土曜日にボランティアを案内役に開催している『季節の花さんぽ』全てを友の会講習会として取り扱うこととし、会員証掲示により無料で入園できる機会を増やした。これに伴い、例年 4 月下旬、第 1 回例会通知と共に会員証を送付してきたが、『季節の花さんぽ』4 月開催日まで届けることが必要となったため、講習会「季

節の花さんぽ』開催のお知らせ/季節の花さんぽ実施計画(両面印刷)、平成 27 年度事業計画(B4 クリーム色紙両面印刷)と共に、また対象者には管理ボランティア登録証(未受取会員分のみ)も併せて 4 月 10 日全会員に送付した。

(1) 例会・運営委員会

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催する。毎例会の開催前 11:30 から運営委員会を開催し、当該例会での連絡事項・内容について打ち合わせを行い、それらの決定事項を盛り込んだプログラムを作成・印刷・頒布した。例会後には次回例会内容を含めて今後の事業の執行計画や予算、イベントに参加した結果報告や会の運営などについて毎回検討・協議した。

各例会では、はじめに事務連絡として申し込み締め切り間近な観察会や講習会、管理ボランティアへの参加呼びかけをお伝えした。それに続き、野外観察会報告・類似施設・(海外)植物調査報告・園内観察などを主題の内容とした。園内観察については見どころ案内や花ごよみ、午前中園内を下見した委員より助言を受け、コースを検討した。案内はガイドボランティアを兼任する委員も多く、観察場所に適任と思われる運営委員が務めた。

第 1 回例会では、園内も見どころ満載の時期を迎えていること、新入会員に植物公園の魅力的な場所を紹介するいい機会であることから、プログラム内容は、事務連絡後ここ数年園内観察会としている。今年度は園長に新しく着任された林園長のあいさつ、山草部会ロビー展示案内、春の野外観察会募集、そして 5 月 24 日(日)に開催される『被爆樹木標識取付けイベント』への参加を呼びかけた。その後、丁度見ごろとなっている大温室内のヒスイカズラ～バラ園コースとツツジ・シャクナゲ園～樹林観察園のジャケツイバラ、イヌザクラを観察するコースの 2 コースを選択の上、参加とした。



写真 1 第 2 回例会 栽培・展示課提供余剰苗の頒布

第2回例会では、栽培・展示課よりアゲラタム、ゼラニウム外ハーブの苗を参加者に分譲いただき、参加した会員は大きな鉢であっても喜んで持ち帰られていた。

また、事務連絡では講習会（クラフト作り、PETのハンギングバスケット作成、秋の野外観察会への参加を呼びかけ、参加を促した。続いて、主題「春の野外観察会報告」を栽培・展示課久保技師により執り行った。続く園芸作業では温室植物として「ビカクシダ」、屋外植物として「夏の管理」を選択の上、参加としたが、ビカクシダはあまり馴染みがないためか、参加者2名と奮わなかった。

第3回例会では最初のプログラムである園芸作業を、事務局としては温室植物/屋外植物何れも参加者に聴講いただこうと考えたが、担当者が既に別会場で行うよう計画していたため、ベゴニア温室（温室植物）と展示資料館講堂（屋外植物）を会場として園芸作業を開講した。その後集合時間を指定して、展示資料館一階ロビーに集合し、見頃を迎えた植物の多い園内を温室・屋外とも班分けすることなく一緒に園内観察した。

第4回例会では主題「秋の観察会報告」を同

行した栽培・展示課柏原技師により執り行った。続くプログラムでは、温室植物と屋外植物の園芸作業と園内観察の3者を選択肢とした。園芸作業は担当者がそれぞれ場所を講堂から移し、栽培温室/カエデ園まで受講を希望する会員を引率して行き、開催した。温室植物については小型シンビディウム、屋外植物についてはカエデ園にて生憎の小雨模様であったが、傘をさして催行した。園内観察は午前中の運営委員会でもまもなく閉館予定の大温室の「見納めツアー」の提案がなされたことから、園内観察は大温室とした。

第5回例会では栽培・展示課高井係長より視察調査された「岡山市半田山植物園探訪」について報告された。その後、温室と屋外に別れ園内観察とした。

また、例年同様例会の会場である講堂入口付近において山草部会員を中心として会員同士で余剰苗の種苗交換なども実施された。第5回例会においては例会当日ログガーデンの整備に伴い、栽培・展示課よりシオンの掘り取り株の提供を受け、午前中部会例会を開催していた山草部会員の希望者で全てなくなった。



写真2 第4回例会 秋の野外観察会報告



写真3 第4回例会 園芸作業（屋外植物）



写真4 第4回例会 園芸作業（温室植物）



写真5 第4回例会 園内観察会～大温室

(2) 講習会（今年度は2回計画するも一回は暴風警報?のため中止）

9月の例会前に開催する友の会作品展への多数の出品を促すため、例年8月に2回の講習会を開催している。しかし昨年度の運営委員会で今年度の講習会は1回を「クラフト講習会」として友の会作品展に供することとしたが、残り1回の講習会は「PETボトルで作るハンギングバスケット」とし、こちらの作品は室内展示で管理できないため、展示への出品対象外とした。PETボトルのハンギングバスケット制作については、今年度初め4/25（土）・26（日）開催された「全国花のまちづくり広島大会」への友の会からの協力として、会場である国際会議場周りの装飾をすることとなった。これに際し、日本ハンギングバスケット協会広島・島根合同支部支部長大橋雅江ハンギングバスケットマスター指導の下、先のPETボトルのハンギングバスケットを制作・装飾協力する経験をしたことから、ノウハウを得た藤井運営委員から講習会として提案された。友の会作品展への出品には関係な

いものとし、外の行事と重ならず、また比較的暑さが和らぐ9月中旬開催として計画した。

第1回講習会「クラフト作り」は講師2名で8月25日（日）に計画し、事前参加申し込みが3名あったが、台風15号接近に伴う暴風警報発令の影響で、当初参加を申し込んでいた会員から、参加できない旨の連絡があり、講師を務める藤井運営委員から同様に講師を務める白井会員と協議した結果、中止することとした旨の連絡があり、外の参加申込会員に電話連絡し、中止とした。

第2回講習会は事前に5名の申込があり、藤井運営委員を講師としての9/13(日)に開催した。植え込み材料は、ペチュニア・カリブラコア及び栽培・展示課提供のオリヅランとした。開場は展示資料館2階講堂にてPETボトルの加工、東側踊り場で植え込み作業を行った。参加会員は最後まで集中して熱心に取り組まれた。作成したハンギングバスケットは藤井運営委員が用意した仕出し弁当の持ち帰り用ビニール袋に包んで、持ち帰った。



写真6 PETの切れ込みを入れる場所にマジックで印をします



写真7 植え込みます



写真8 植え込み終了



写真9 PETを覆います

ハンギングバスケット制作は午前中で完成したが、午後の時間を利用して、今秋開催される『秋のグリーンフェア 2015』の今年友の会が担当することとなった写真撮影スポットの装飾に使うハンギングバスケット用にPETボトルを加工した。

(3) 観察会

例年は年2回春と秋に、日帰り近郊の野山の観察を実施、野外観察会が友の会入会の動機が多いことから、会員の満足度アップのため平成23年度からは現地集合・解散する第3回野外観察会を開催している。

今年度の野外観察会は『お勉強』的なものではなく、丁度花が見ごろの比較的アプローチしやすい地を観察する『観光』的なものにしてみよう、と昨年の本年度事業計画を検討する運営委員会で提案されたことから、第1回の観察会は島根県邑智郡邑南町布施の「服部さんの山野草の楽園」、第2回の観察会は岡山県浅口市寄島町の「アッケシソウの自生地」とした。また、講師は毎度広島大学の山口・中坪両教授に依頼していたが、今年度はいずれも現地に案内に適切な方がおられることから、両教授には年度初めに電話にて今年度は依頼しない旨を伝えた。

春の観察会は先述の山野草園としたが、近隣の適当な場所へ寄ることも検討したが、目的地へ行く途中の「道の駅瑞穂」に行き帰り共寄ることとした。



写真10 8春の野外観察会（山野草の楽園）

秋の野外観察会では、8月に予め電話によりアッケシソウを守る会事務局がある浅口市教育委員会より情報収集した。当該会はアッケシソウ自生地の保護に直接携わっておられる。収集した情報から、自生地までの途中でコスモス畑

を育成し、丁度見ごろとなる「道の駅笠岡ベイファーム」に寄り、アッケシソウの自生地近郊にある三ツ山スポーツ公園にて昼食後、アッケシソウの自生地を訪れることとした。先述のアッケシソウを守る会事務局によると、22日までアッケシソウ祭を開催中で会員が常駐していたが、観察会当日は不在とのこと。しかしながら、事前に連絡すればご案内いただけるとのことだったので、依頼した。昼食後堤防にてアッケシソウを守る会 作田雅利会長と合流し保護区の囲い扉前にて説明を受けた。説明を受けた後、更に西進したところに間近で観察できる自生地もあり、参加会員は熱心に写真を撮ったり観察されていた。



写真11 秋の野外観察会

平成22年度に実施したアンケート調査から、野外観察会が友の会入会の動機である会員が回答会員の18%と多かった（栽培記録第32号平成23年3月に結果を掲載）ことから、現地集合・解散・事前申し込み不要で気軽に参加できる観察会として第3回を平成23年度から開催（第1回は宮島を環境省宮島地区パークボランティア6名により解説）している。平成27年度は、当園の特別企画展でも取り上げた「被爆樹木探訪」とした。広島市で被爆樹木の保護・育成に努めている「緑の伝言プロジェクト」の一環として印刷された『被爆樹マップ』や、先述の展示においても関連イベントとして「被爆樹木探訪」が開催されることから、講師を務める堀口力氏にもアドバイスを賜り、ルートを検討した。その結果、原爆ドーム前～基町界限～寺町～横河～三篠神社を巡ることとした。10:00に原爆ドームに集合、11:52三篠神社で解散とした。後日平成28年1月10日開催した第5回例会運営委員会において、次年度の事業計画を検討す

る中で、別ルートでの開催を希望する意見も出された。

(4) 展示会

年1回秋に、会員が普段取り組んでおられる鉢物（山草部会員等）や写真、クラフト、絵画などを出品していただき、友の会作品展として開催している。

例年9月第2週の日曜日に開催している例会開催日が展示最終日・撤去日として計画している。しかし今年度は、特別企画展が6/27（土）～8/16（日）まで開催されたため、続く展示会がずれ込み、今年度の展示は9/19（土）～9/27（日）となった。これに伴い、例会も展示会最終日の9/27（日）に開催することとした。



写真12 作品展～クラフト



写真13 山野草と写真

今年の展示では第1回講習会が台風接近に伴い中止となったことから出展点数が少ないことが懸念されたが、作りためておいた木の実のクラフトに加え、アジサイで作ったフラワーボールが出品され、ポリウムに加えインパクトのある作品で、天井から吊るすことで広がりのあるものとなった。その外の出品作品としては、山草部会員を始めとして毎度多数の出品がある

山野草が展示場の西側前面と北側半分の出品があり、更に被写体として花に留まらず昆虫にもレンズを向ける一名の会員から展示場の壁1/4を占めるほど力作の写真が多く出品された。

(5) 園内ボランティア（表3）

植物公園において、第1・第3火曜日を定期的な活動日として『友の会花壇管理』を主な活動内容とし、栽培・展示課から要請があった場合（写真）のみ、そちらの作業に従事することとしている。今年度は「サクラソウ展」「カスケードのハンギングバスケット」「クリスマス飾るフラワー展」「ベゴニア温室前花壇のクリスマスローズ植栽区の整備」に御協力いただいた。

クラフト製作については例年同様に、普段から時間があるときは園内のクラフト材料の採取に努め、小学校自然体験学習や秋のグリーンフェア（以下G.F.）や開園記念日等のイベントでの友の会コーナーにおけるクラフト講習会に備え、本年も小学校の自然体験学習として木の实を使ったクラフト作り（松ぼっくりを使った毛糸の羊やタケで作るゆらゆらシーソー、クリスマスツリー）を制作・指導し、植物公園の業務に大きく貢献している（表3）。

『秋のグリーンフェア』においては、昨年引き続き記念撮影コーナーの設置・飾り付けを担当することとなった。藤井会員を中心に管理ボランティアはG.F.運営に大きく貢献した。（写真14）。



写真14 グリーンフェア撮影ブース

年間6回以上管理ボランティア活動に参加している会員に管理ボランティア登録証を発行し、登録証提示により、駐車料免除等の特典を付帯している。平成27年度は17名が管理ボランティアとして登録されている。

(6) 会誌の発行 (表2)

会員が撮影した写真を用いた表紙に、植物に関する海外調査報告や会の山草部会や管理ボランティアの活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年4回発行、会員に配布している。今年度発行した第145(冬)号において、執筆者の藤井委員から写真を大きく載せたいので、余白を狭くしてほしい旨の申し出があり、藤井委員の原稿のみ余白を狭くして写真を大きく掲載した。平成28年1月の第5回例会時運営委員会において、次年度の会誌「はなの輪」の内容を検討する中で、写真を大きくすべく、余白に関しては第145(冬)号の藤井委員の原稿にそらえることとした。

一方、印刷部数を増やすことで単価が安くなるよう注文していたため在庫が膨らんでいたことから、バックナンバーを出品謝礼と共に展示会共催団体の方に出品謝礼と共に渡してきた。しかし、平成25年度から植物公園の予算に組み込まれ独立採算制を打ち切ったことから、単価を引き下げるため印刷部数を多く発注することを中止し、会員数と関係機関への分譲部数を鑑み、300部印刷することとした。

(7) 部会

友の会部会活動は現在山草部会の一部会のみである。

山草部会は、年2回の野外観察会や5月の例会に併せて開催する展示資料館ロビー展示と9月の植物友の会作品展の2展示会、2ヶ月に1回友の会例会前の午前中に部会例会を開いている。また、部会員が栽培・育成した苗物の交換も行っている。5月のロビー展示期間の2日間は、入口に臨時売店を設け、販売も行った。部会活動は事務局の運営下ではなく自主的に運営されている。



写真15 山草部会ロビー展

(8) 友の会花壇

(5)にて先述したように、平成25年度から管理ボランティアは友の会花壇管理を主の活動内容とし、栽培・展示課の管理作業へは要請があったときのみとしている。

表 平成27年度管理ボランティア活動記録(平成27年4月~12月)

活動月	活動内容	人数
4月	チョウ観察・撮影、アジサイ管理、花さんぼ下見・講師、サクラソウ展補助、サクラ調査 ほか	51
5月	チョウ観察・撮影、みどりの日クラフト講習会、山草部会ロビー展管理、花さんぼ下見・講師、ペゴニア温室管理、アジサイ管理、ハンギングバスケット制作、ハナショウブ管理 ほか	45
6月	ハナショウブ管理、アジサイ管理・展示手伝い、花さんぼ下見・講師、クラフト講習、書類発送作業 ほか	38
7月	チョウ観察・撮影、ガイド、花さんぼ下見・講師、アジサイ管理、クラフト教室 ほか	21
8月	チョウ観察・撮影、花さんぼ下見・講師、アジサイ管理、グリーンフェア会議 ほか	23
9月	チョウ観察・撮影、花さんぼ下見・講師、アジサイ管理、グリーンフェア会議、書類発送、クラフト講習会 ほか	25
10月	チョウ観察・撮影、花さんぼ下見・講師、アジサイ管理、グリーンフェア写真撮影スポット設営・クラフト講習・片づけ、書類発送、クラフト講習、ペゴニア温室周り除草 ほか	52
11月	花さんぼ下見・講師、アジサイ管理、開園記念日クラフト講習、ペゴニア温室管理、ハンギングバスケット制作、クラフト講習、クリスマス飾り補助 ほか	28
12月	花さんぼ下見・講師、夜間開園キャンドル着火作業 ほか	18

表1 平成27年度植物友の会 事業執行報告

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成27年 4月4日(土)	会員証・講習 会①案内外送 付	園芸相談室	花さんぽ①案内・会員証配布 前会員で未加入の方へ再通知送付 管理ボランティア証配布		職員
4月10日(金) 8時30分～13時50分	例会①等の案 内発送	植物公園 小会議室	例会① 観察会①参加者募集 〇切 講習会①参加募集 〇切 運営委員会開催案内		職員 1名
4月14日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(八重桜と春の花めぐり)		原田澄子 ボランティア 会員 12名
4月25日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ハンカチノキと春の花めぐり)		ボランティア 会員 12名
5月4日(月・祝)	講習会ボラン ティア	大温室前広場	みどりの日 記念行事	クラフト教室、活動紹介	会員 5名
5月8日(金) 9時30分～12時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		職員 部会員 7名
5月9日(土) ～10日(日)	山草部会 ロビー展示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		部会員 7名
5月10日(日) 13時20分～15時	例会①	植物公園講堂及 び屋外	園内植物観察 (園路観察コースと健脚コース=いずれも屋外)		職員 会員 39名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 5名
5月12日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ナンジャモンジャとサラサドウダン)		ボランティア) 会員 2名
5月16日(土)	観察会①	島根県邑智郡邑 南町	服部さんの山野草の楽園		職員 3名 会員 27名
5月23日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(バラの花めぐり)		ボランティア 会員 6名
6月9日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ハナショウブとヤマアジサイ)		若宮桂子 ボランティア 会員) 12名
6月27日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(サボテン温室探検)		原田澄子 ボランティア 会員 3名
6月30日(火) 9時10分～10時50分	はなの輪143 号及び例会② 等の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第143号 例会②・花さんぽ③案内 講習会①②参加募集 植物友の会作品展出品申し込み案内 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 2名
7月12日(日) 13時20分～15時	例会②	植物公園講堂	春の野外観察会 報告 園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 34名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 3名 運営委員 5名
7月14日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング 夏の花)		原田澄子 ボランティア 会員 4名
7月25日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(樹木観察林散策①)		ボランティア 会員 6名
8月11日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(秋の七草を探してみよう)		原田澄子 ボランティア 会員 4名
8月22日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(食虫植物観察)		若宮桂子 ボランティア 会員 3名
8月25日(火) 9時～15時	講習会①	植物公園講堂	クラフト教室		暴風警報発令につき中止
9月8日(火) 9時～10時50分	はなの輪144 号及び例会③ 等の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第144号 例会③・花さんぽ④案内 観察会②参加者募集 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 2名
9月8日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(樹木観察林散策②)		原田 澄子 ボランティア 会員 10名
9月13日(日)	講習会②	植物公園内	PET ボトルを使ったハンギングバスケット作り		講師 藤井かおり会員 会員 5名
9月18日(金)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展出品作品搬入		会員 14名
9月19日(木) ～27日(日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		会員 14名
9月26日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(小径・細道・寄り道さんぽ)		若宮桂子 ボランティア 会員 7名
9月27日(日) 13時20分～15時	例会③	植物公園講堂	秋の園芸作業 と 園内観察会		職員 3名 会員 37名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 1名 運営委員 4名

10月3日(土)～ 4日(日)	講習会 ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア 友の会コーナークラフト制作	9名 7名
10月13日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング どんぐり拾い)	原田澄子 ボランティア 会員 8名
10月24日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(秋の山野草を見よう)	藤井かおり ボランティア 会員 1名
10月25日(日)	観察会②	岡山県浅口市	寄島の干拓地でアッケシソウを観察	職員 3名 会員 22名
10月31日(土) 8時45分～10時40分	はなの輪144号及び例会④等の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪144号 例会④案内 観察会②集合写真 観察会③参加者募集 運営委員会案内	職員 1名 会員 3名
11月3日(火・祝)	講習会 ボランティア	大温室前広場	開園記念日 クラフトコーナー	6名
11月8日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂及び屋外	園芸作業及び園内植物観察	職員 4名 会員 37名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について 平成28年度事業計画検討	職員 1名 運営委員
11月10日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(秋に咲くマンサクと見よう)	藤井かおり ボランティア 会員 6名
11月28日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(樹木観察林散策③)	坂本俊弘 ボランティア 会員 6名
12月6日(日) 10時～(仮)	観察会③	広島市内	被爆70周年 被爆樹木をめぐる	職員(講師)1名 会員 7名
12月8日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング 落ち葉)	原田澄子 ボランティア 会員 8名
12月15日(火)	例会⑤ 案内発送	植物公園 小会議室	例会⑤案内(年賀状)	職員 1名
平成28年 1月4日(月)	運営委員会 案内送付	植物公園	運営委員会開催案内(FAX・ボランティアキャビネにて)	職員 1名
1月10日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	講演会「海外植物調査」(案) 冬の園芸作業	職員 4名 会員 38名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について 平成27年度事業報告 平成28年度事業計画案作成	職員 2名 運営委員 6名
1月12日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(真冬に咲く花めぐり)	若宮桂子ボランティア 会員 8名
1月23日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(冬至梅と早春の花めぐり)	ボランティア) 会員
2月9日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(早春の花① マンサク)	ボランティア 会員
2月23日(火) 9時～	はなの輪第142号及び例会⑥等の案内発送	植物公園小会議室	はなの輪第145号 例会⑥案内 総会開催案内 運営委員会開催案内	職員 会員
2月27日(土) 11時～12時	花さんぽ⑤	植物公園内	季節の花さんぽ(早春の花② 節分草)	会員(ボランティア)
3月8日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(早春の花③ ユキワリイチゲ)	会員(ボランティア)
3月13日(日) 13時20分～15時 9時～10時	例会⑥ 運営委員会	植物公園講堂及び屋外 小会議室	総会 春の園芸作業及び園内植物観察 総会・第6回例会の進め方	職員 会員 職員・運営委員
3月26日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(樹木観察林散策④)	会員(ボランティア)

表2 会誌「はなの輪」の発行

平成27年6月	2015通巻143号(夏号)	平成27年8月	2015通巻144号(秋号)
平成27年10月	2015通巻145号(冬号)	平成28年2月	2016通巻146号(春号)